

《共通論題：新たなステージの地域金融》

全国版地銀 CLO(沖縄方式)推進から見た地方金融機関の経営

九州大学 小西龍治

1)本報告は、沖縄県経済振興施策の一環として沖縄振興特別措置法に基づき設置された沖縄金融特区関連事業の第一弾である全国地銀(*1)を対象とした貸出債権証券化構想(*2)、その推進活動・帰結の紹介、ならびにその活動の総括から導引する地域金融機関の経営課題などについて鳥瞰するものである。報告で触れる様に本活動は沖縄に発する全国視点をもった金融システムのトランスフォーメーションのための実践的運動であり、地域経済と地域金融機関との関係に精密な理論的考察を加えているものではない。従ってこの報告において指摘することとなる「地域金融機関(主として第一地銀)と地域・地場企業の関係の解きほぐしの必要性」とその結果としての地域金融機関の新たな経営モデルと戦略のあり方、といった事柄については更なる実証分析に委ねるものである。

*1 基本的には第一地銀

*2 2005年1月公表・2006年3月中小公庫の協力と提携により実現

2)本報告の構成概要は下記の通り

①沖縄金融特区活動の組織枠組

②沖縄金融特区活動の基本的視点

～全国視点の金融システム活性化活動

～知の集積による沖縄経済振興とアジア金融センターへの展望

③地域金融機関の経営課題概観(戦略なき復興)

～「ポスト不良債権」「ポストリレバン」における生存の枠組み

～戦略とリスクマネジメント(BIS規制の意味)

④全国版地銀 CLO(沖縄方式)の狙いと効果

～地域における貸出債権証券化の経過と現状

～全国版 CLO の違いと狙い

⑤全国版地銀 CLO(沖縄方式)の具体像

～当初の構想・中小金融公庫との連携によるフォーマット

～対象地銀の反応と問題点整理(BIS規制など)

⑥活動と結果からの導引(求められる金融機関経営思想と戦略の変革)

～市場型間接金融への自己革新的移行(経営トランスフォーメーション)

～地域金融機関合従連衡に向けてのイニシアティブ

～地域経済活性化に関する地場企業への角度を変えたアプローチ

(ファミリービジネスと言う切り口)